

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」

グローバル展開プログラム最終評価結果表

課題	日本の国際広報と国際発信に関する実証研究
研究テーマ名	政治と外交の対外情報発信に関する国際共同研究：日本と他国の比較、実験と内容分析によるアプローチ
研究代表者	多湖 淳
所属機関・部局・職	神戸大学・大学院法学研究科 教授
研究成果の総合評点：A	
研究成果に係る所見	
<p>エビデンスに基づいた日本の外交発信の実証分析は新しくかつ重要であり、インパクトの高い発展性をもつ成果をあげたことは評価できる。この点で、研究目的から期待された水準には十分に達していると判断される。ただし、実験について代表性がどれくらいあるかについては判断しがたいところがある。また、オリンピックを控え、広報外交の重要性が高まっている中で、日本の広報外交に関する国際研究拠点の形成に大いに寄与していることも評価できる。今後とも、グローバル展開と若い研究者の組織作りを一層進めることが望ましい。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記の通り。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、十分ではなかったが一応の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い。